

六月のおもな行事

- 気象記念日、電波の日(1日)
- 歯の衛生週間(4日~10日)
- 第13回全国衛生教育大会(19日~21日)
- 第1回全国保健衛生大会(20日~21日)
- 夏の健康増進運動(21日~7月20日)
- らいを正しく理解する週間(23日~29日)
- 貿易記念日(28日)
- 能研テスト(29日)

大豊

No. 98 昭和43年6月17日 全戸無料配布
発行 高知県長岡郡 大豊村中央公民館

男計	7,301人	女	7,822人
計	15,123人	(前月)	15,225人
出生	3,910世帯	(前月)	3,945世帯
死亡	男 8人	女 5人	計13人
転入	男 6人	女 5人	計11人
転出	(県内) 27人	(前月)	56人
	(県外) 22人	("	34人
	(県内) 70人	("	126人
	(県外) 83人	("	84人



大豊村のシンボル

役場庁舎の完成

明治二百年への新しいスタート

昨年九月、着工以来八カ月ぶりに村民待望の役場庁舎が完成し、さつき晴れの五月八日に盛大な落成の式典が行われました。
この日、国會議員や県知事代理をはじめ村内外から約四百名が参加して新しい庁舎の完成と地方自治法施行二十周年記念自治大臣賞受賞(昨年)の栄を併せて祝いました。
時あたかも明治百年という記念の年に近代的新行政センターが完成したことは本村の発展史に輝かしい一頁を加えるものであり、今後の発展がさらに大きく期待されます。

庁舎の概要

庁舎前に舗装された広場をとり、地下二階、地上四階、鉄筋コンクリート建ての近代建築は、穴内川に美しい影を映し、国鉄の車窓からも眺められ、土佐路に足をふみ入れた県外客の最初に接する大きな建物です。町村役場としての規模の大きさは県内屈指のもので、高知県の北の玄関にふさわしい庁舎といわれております。
この庁舎の特徴は住民サービスと事務効率に重点をおき、基準階を二階に設け正面の階段を上った

一、建物の概要

延面積	平方メートル
二階	二五七・五〇
三階	二五七・五〇
四階	二五七・五〇
地下二階	一八〇・五〇
地下一階	一八〇・五〇
地上二階	四四三・七五
地上三階	四四三・七五
地上四階	四四三・七五
屋上	二八・〇八
軒の高さ	国道敷より三・〇五
下段	より三・〇五
建物仕上	〇人槽

二、設備の概要

外装 鉄筋コンクリート造、モルタル塗りエマルジョン吹付け
 建築 鋼鉄サッシュ防錆処理の上〇・P塗仕上げ
 屋根 鉄筋コンクリートスラブ・ゴレックス防水層施行防水平モルタル仕上、講場屋根断熱材土居葺の上長尺カラ
 一鉄板葺
 電気設備 三相三線式六六〇V電灯
 受電 四五KV A、動力一〇KV A
 弱電 電話有線放送、自動火災報知設備
 暖房設備 旋回加速燃料方式ボイラー(全自動式) スチーム暖房機 KCA/H・m
 換気設備 湯沸湯、厨房、便所、自然換気及び換気扇
 給水設備 上水道引込高架水槽へポンプアップ
 給湯設備 L Pガス湯沸、ガス風呂設備
 ダストシュート設備 各階一カ所
 消火栓設備 屋内消火栓各階一カ所
 排水設備 自然排水
 浄化槽設備 新世紀浄化槽二八〇人槽

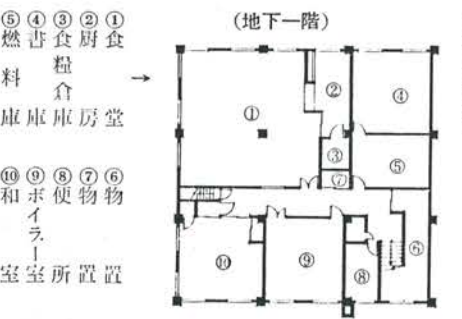
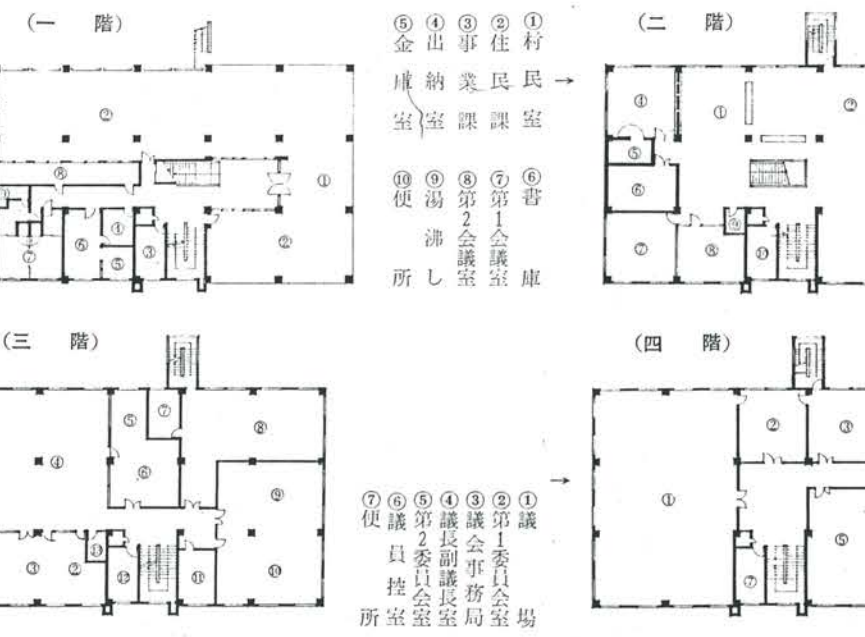
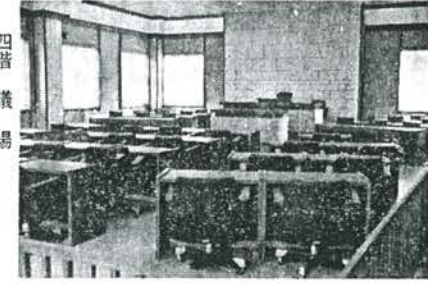
村政功労者を表彰

多彩な落成式行事

当日は午前九時から古式豊かな神事が四階の第一委員会室で行われ、続いて十時から講堂広場で関係者全員参加のもとに祝賀式典が行われました。
本村が全国優良町村として県下二団体のうち選ばれて自治大臣賞を受賞し、明治百年の今日近代的な庁舎完成をみるにいたったことは、合併以来ひたすら村の発展をねがって尽瘁された村民の努力のたまものであり、とりわけの方々はその功績が特に顕著であるとして西岡村長より表彰状と記念品が贈呈せられ、式典に一段と光りをそえました。
また当日は四階第二委員会室で地元婦人による生花展(末生流野)

被表彰者名

- 個人(二十五名)
 - 自治功労者 三谷泉水、小笠原清徳、北窪篤光
 - 門田仁一、橋本幸恵、宮内正章、鈴木友茂、寺石山雄、朝倉寛一、桑名豊茂、秋山信吉
 - 多年勤続学校医 秋山実、上村茂明、大坪盛政、岡崎啓
 - 多年勤続選挙管理委員 釣井徳一
 - 長期児童生委員 三谷(西條)、大滝、川井、柚木
- 小笠原清次
 - 長期遺族会長 三谷進一郎、森正永
 - 団体の部(十五団体)
 - 部落活動優秀団体 黒石部落
 - 五カ年連続納税率九十九パーセント以上の成績優秀団体(納税組合) 黒石、東庵谷、連火、陸、中内、沖、柚木、三津子野、大砂子、大久保
 - 五カ年連続 共同募金、日赤募金優秀団体



今年の方針

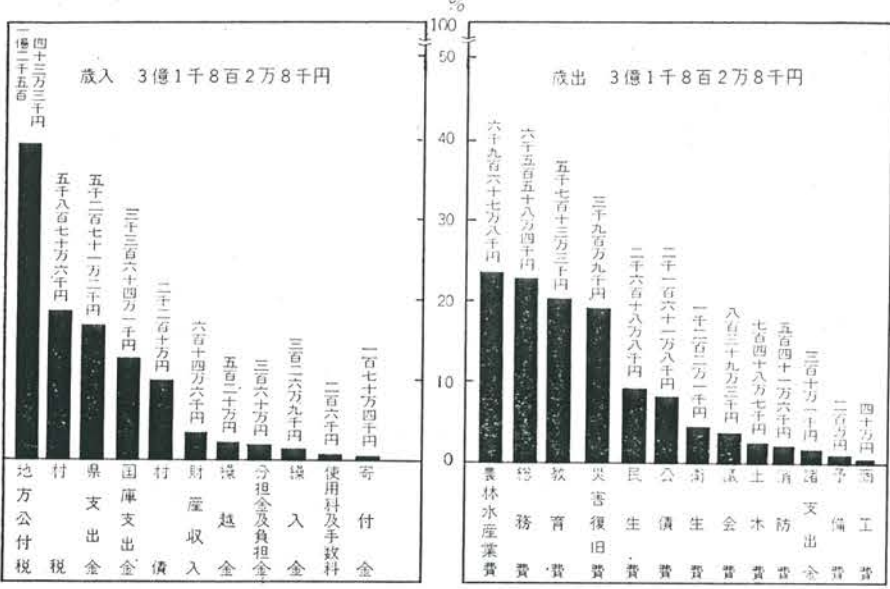
昭和43年度予算は 四億八百万円余り

第百三回定例村議会は去る三月十一日に開かれ、昭和四十三年度施策の中心ともなるべき当初予算案をはじめ多くの重要案件が提出され、慎重な審議を経て原案可決となり二十一日に閉会しました。

冒頭に述べられた村長の施政方針演説の要点をひろってみますと、おおむね次の通りです。

予算規模

昭和四十三年度の年間計画の上で、充分に村づくり構想を助成し、ついでに引きつぎ健全財政を堅持して現在の段階で見通し得る財源を一杯計上し、行政諸経費の全般に亘り施策の重点化、効率化を図ると共に、緊要とされる重点施策を網羅したいわゆる総合的な年間予算（あとからあまり追加をしない主義の予算）の比五十四パーセントの増であり



村づくり計画の樹立と行政の近代化

四十三年度の施政方針としては前年度に引きつぎ村づくり計画の樹立であるかと考へる。

このことは昨年度においても方針を述べ具体的に着手する方向で準備をすすめてきたが、本年度の指導協議の結果、本年度に樹立する事が諸般の情勢から最も良い時期であると見出し、早期に実現するよう努力し、これと相まって現在社会

地蔵対策

予算計上額四千三百九十八万八千円のほろ大きなものとなっており、村長個人は任期が年々によつて急変することは許されないものと確信し、私の任期も後限られてはおりますが、長期の広い視野に立って前向きな姿勢で村政を推進することが私に課せられた責務と自覚し、意欲的に村勢発展のため全力を尽くしたいと念願する次第であります。

社会福祉

老人福祉、国民年金福祉、軍人遺族福祉、身体障害者福祉、さらには青少年の非行対策等このよ様な観点から編成した予算計上額は五百五十万三千円となっております。

立川へき地保育所を新設すると共に全般的な内容の充実をはかるため二千六十五万一千円を計上した。

教育

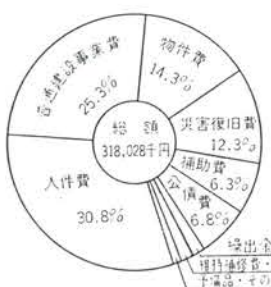
成人病対策、集団検診の実施、各種予防対策に重点をおいて保健衛生の向上に万全を期したいと考へ、一千二百二十万一千円を措置し、

次に文教の振興施策であります。施設の内容及び年々減少する児童生徒数等諸般の実情をみたとき、このまゝ放置すれば本村の教育水準は低下するばかりでなく、村の将来を背負い後継者となる青少年の意欲を阻害する結果となり

役場の人事異動

役場では新しい庁舎の完成を契機として五月一日付で人事異動を発令しました。

これによると行政課に新しく振興計画課を設け、収入役、教育長、議事事務局、各課長及び補佐、農地係長、西支所長及び補佐、農地係長、西支所長及び補佐、それらの係長が振興計画課勤務を兼務発令され、本年度中に大豊村の十年後のビジョン（夢）を立ち立てることになっております。



性差別予算内訳

財政係長—算義孝、主事—三谷岳生、佐々木昭十郎、西岡憲一。

事務係長—鎌倉宏、主事—今井千津子、阿波井清次郎、小笠原長廣、西村弘、杉本周二郎、上村鳳明、主事補—安井長由、松村敬一、久保都子、事務員—島村忠秋。

住民課 (二階)

課長—重森元亀、課長補佐(兼教員)—前田波徳。

窓口係長(心得)—森下辰吉、主事—豊永きよ子、事務員—十野幸、福祉係長(心得)—桑名啓三郎、主事—永野秀晴、上村仁、秋山和義、事務員—平石郷美。

保健係長—杉本信重、主任主事—石川靖明、主事—松下健一、西村勝男、小笠原良延、主事補—都築康博、保育所長—小笠原俊信。

社会福祉協議会主事—村田忠雄、主事補—中西美代子。

事業課 (二階)

課長—渡辺盛男、課長補佐—松高豊繁。

農地係長—西村憲義、農地主事—西岡富美子。

参議院議員の通常選挙は七月七日です

来る七月七日は参議院議員の通常選挙が行なわれる予定です、いよいよ六月十三日から全国で選挙運動がはじまります。私達の日常生活で最も大切なことは何か？と申しますと、それはよい政治が行なわれることである。

明るい住みよい社会になるためには、まづ政治が正しく行なわれなければなりません。この大切な政治は、選挙によって選んだ私達の代表が良いか悪いかによって決まり、選挙は私達自身のための最も大切なこととあります。

子供の教育や社会福祉、税金のこと、農林産業、住宅や道路等を良くすることはみな政治であり、私達の生活は何一つ政治と切りはなして考えることはできません。

その政治を行なう代表者をきめるのが今度の選挙です。私達の一票一票が国の政治の方向をきめます。明るく正しい選挙で立派な政治のもとをつくりましょう。

日頃私達は民主主義という言葉を口にしたり聞いたりしますが、民主主義とは、私達が自身の手で私達のために明るく住みよい村や村を築くことをいいます。

来る七月七日の参議院議員の通常選挙では私達の一票を明るく住みよい国造りに役立てるよううにいたしましょう。

大豊村選挙管理委員会
たね選ぶ心で選挙と人。
国会の行く道照らすこの一票。
供給は暗い政治のおせん立て。
主権者の誇りをうるこの一票。

立川出張所

支所長—松岡行雄、主事—平尾美砂、主事補—山本節子。

支所長—三谷博親、書記—田村佐智子、書記補—小松和一。

教育委員会事務局 (三階)

教育係長—山中方石、教育次長—大地寿輝。

教育行政係長—笹岡桂助、主事—大崎隆子、指導主事—小笠原節富、事務員—上村典義。

社会教育係長—中西盛興、主任主事—秋山正治。

文化財保護委員会の活動の強

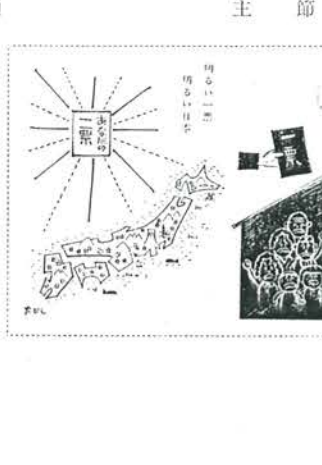
文化財保護委員会の活動の強

明治二十三年に、はじめて国会が開かれたとき我が国の予算総額は八千万円だったそうです。

また、第一次世界大戦の当時日本中のお金を全部あつめても三億円に足りないだろうと云われたそうです。それがなんと大豊村の予算だけで四億円を突破するとは、ずいぶん世の中も変わったものであります。

今昔の比較

明治二十三年に、はじめて国会が開かれたとき我が国の予算総額は八千万円だったそうです。



四十三年度の 教育行政方針

大豊村教育委員会では昭和四十三年度の教育行政方針を決定し、四月二十二日に次の通り発表しました。

教育基本方針

教育基本法及び学校教育法の精神に基づき、本村の地理的経済的環境の特殊性に立脚して、大豊村民としての理想と使命を達成し、人類社会の平和と幸福のために、生活の第一線に働くことのできるたくましい身体と、明確なる知識、技能を持った人情味豊かな大豊村民を育成する。

行政方針

本委員会は県教育委員会の行政方針に則り、本村の実態に即した方法により学校教育並びに社会教育の向上を図る。
特に教育の中立性を堅持し、学

合併新農協発足

初代組合長に 森山茂貴氏

昨年八月一日、農協合併推進委員会をつくり各農協から三名の委員を出して研究をすすめておりました農協合併については、時期尚早であるとの理由による東豊永農協を除いて、大杉、立川、西豊永、大田口、天坪の五農協が合併することを決め、三月三十一日を合併予定日として二月二十日、一斉に合併総会を開きました。

この日、大杉、立川、西豊永の三農協が合併を決議し、大田口農協は会期を延長して二月二十八日に再び総会を開いて合併を決議しました。

天坪農協では継続審議で少し期間を置いて三月三十一日総会を開きました。残念ながら合併が実現しませんでした。

このため、東豊永、天坪を除いた四農協では四月三十日に合併す

力の向上と道義心の高揚に努め、心身共に健康はつらつたる児童、生徒の育成に努力する。

このため重点目標を次のとおり定め本村教育の振興を図る。

一般行政

(一) 関係機関並びに他市町村と連携を保ち行政水準の向上を図る。

(二) 施策の徹底を期するとともに教育の諸問題について広く意見を求め教育行政の民主的運営を図る。

(三) 重点施策推進のため事務局の強化を図る。

(四) 統合校の建設促進に努力する。

(五) 学校訪問の実施に努め施設設備の整備計画を樹立し、教育諸条件の計画的な整備向上に努める。

(六) 学校統合による廃止校の合理的処理について検討する。

(七) 職員研修を行ない教養を高め行政能力の向上を図る。

(八) 教育研究所及び教育資料センターの設置について調査研究する。

(九) 学校統廃合による廃止校の合理的処理について検討する。

(十) 職員研修を行ない教養を高め行政能力の向上を図る。

(十一) 教育研究所及び教育資料センターの設置について調査研究する。

(十二) 学校統廃合による廃止校の合理的処理について検討する。

(十三) 職員研修を行ない教養を高め行政能力の向上を図る。

(十四) 教育研究所及び教育資料センターの設置について調査研究する。

(十五) 学校統廃合による廃止校の合理的処理について検討する。

(十六) 職員研修を行ない教養を高め行政能力の向上を図る。

る。

管理
(一) 教育公務員としての使命と職責の自覚を深め、和を基調とした明瞭で品位のある職域倫理の向上を図る。

(二) 法令、規則並びに職務命令を守り、勤務の厳正を期し、教職員の間で協力を期し、教育秩序の維持向上に努める。

(三) 信賞必罰を旨とする。

(四) 学校会計事務の適正化(合理化)に努める。

(五) 統合校の適切な管理運営を図る。

(六) 学校の監査を実施する。

(七) 教職員の人事については郡市交流に努力する。

(八) 指導
(一) 教育の重点目標(基礎学力の向上、道徳教育の強化、健康安全教育の推進)の徹底に努める。

(二) 学校、学級経営の改善を図る。

(三) 授業時間数を確保する。

(四) 職員研修の推進に努める。

(五) 生徒指導の徹底に努める。

(六) へき地教育、複式教育、並びに特殊学級の教育向上をはかる。

(七) 健全なる校風の樹立を指導する。

(八) 健全なる校風の樹立を指導する。

(九) 健全なる校風の樹立を指導する。

(十) 健全なる校風の樹立を指導する。

職員研修の推進に努める。

生徒指導の徹底に努める。

へき地教育、複式教育、並びに特殊学級の教育向上をはかる。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

職員研修の推進に努める。

生徒指導の徹底に努める。

へき地教育、複式教育、並びに特殊学級の教育向上をはかる。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

職員研修の推進に努める。

生徒指導の徹底に努める。

へき地教育、複式教育、並びに特殊学級の教育向上をはかる。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

職員研修の推進に努める。

生徒指導の徹底に努める。

へき地教育、複式教育、並びに特殊学級の教育向上をはかる。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

職員研修の推進に努める。

生徒指導の徹底に努める。

へき地教育、複式教育、並びに特殊学級の教育向上をはかる。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。

健全なる校風の樹立を指導する。



ユース・ホステルとはどんなところでしょうか

ユース・ホステルについては一昨年NHKテレビ放送「太陽の丘」で全国に発表され一般の関心をあつめました。

ユース・ホステルというのは日本はもとより世界万国に共通した簡易宿泊所、つまり青少年が旅を



ユース・ホステル

その地方の特色や由緒などを聞き、又人生体験についての話しや、その人の学識についての話しなども聞きます。そして同じく宿泊した者が、夕食後一堂に集まり、

本村では昭和三十八年に定福寺が吉野川の長瀬、県立自然公園龍ヶ森、楠木スキー場、松尾溪谷を背景に日本一大杉、国宝薬師堂、固定公園大歩危、小歩危の名勝に近い山間の情緒豊かな環境のよいところとして、日本ユースホステル協会、高知県教育委員会から指定を受けております。

以来過去六年で外国人(イギリス、フランス、イタリア、アメリカ、ドイツ)二十二名を含め、国内の若い方々が沢山やってきました。

ユース・ホステルの管理者を「ペアレント」といいます。PTAのPでつまり両親であります。ユースホステルを利用する若者達を「ホステラー」と呼びます。ホステラー達は、ペアレントか

共済金について
大豊村農業共済組合
去る五月十六日開催の当組合通
常総代会において、水稲共済のkg
当り共済金額が、現行の七十円を
百円にする事が決まりました。

これは最近の米価の引上げ、諸
物価の上昇等を考慮し、被害を受
けた農家は、なるだけ多くの共
済金を支払い一本当りに立つ共
済制度にする事が目的です。こ
れにより当組合が持つ水稲の補償

文化財保護について
文化財保護委員会の活動の強
化を図る。

(一) 文化財、天然記念物等の
調査研究を進める。

(二) 調査研究を進める。

(三) 調査研究を進める。

(四) 調査研究を進める。

私の主張

明るい社会をつくりましょう

上東 白石きぬえ68才

人々は何の目的があつて此の世に生まれてきたのでしょうか。幸福な生活をのぞまない人はないでしょう。ではその幸福な生活はどのようにすれば達せられるのでしょうか？

健康であつて自分のもち場に精出して働かねばならんことはみな承知の筈です。人生は七十年としても僅か六十時間といひます。そして寝食、遊戯、病氣等のために費す時間は四十時間、実際業務に従事する時間は二十時間間にすぎぬと云ふことです。

桜ともみじの村にしましょう

杉 釣井 正重 61才

どれ程美しいものでも見馴れると、さほど美しいと感じないものです。皆さん大豊村の風景を改めて見直して下さい。なんと山紫水明に恵まれて下さいませんか。

大豊百年誌の編さん

立野 田村 万石 72才

大豊村誌については、本誌においてしばしばその編さんの必要性が述べられておりました。その必要は、大豊村の歴史を明らかにし、郷土愛を醸成し、後進に継承させることにあります。



季節の話題

冷蔵庫の過信

湿度・温度がともに高く、たとえ電気冷蔵庫があつても、食物の管理がいちばんむずかしいのがこの六月です。

このころはどの家庭でも電気冷蔵庫を備へようとする傾向があります。普及するにつれて、性能のよい冷蔵庫が出てきておりますが過信は禁物です。

① 食べ残したものを冷蔵庫の奥へしまつておき、うっかり忘れていたものを、何日かして子どもがたべて腹痛をおこすというケースも多いようです。料理したものの保存は冷蔵庫といえども翌日には処分したいものです。

② 生の魚貝・肉はできるだけ早く料理すること。冷蔵庫に入れておけば安心と、買つてから二日も三日もはたつておくのは腐敗、中毒の原因になります。

③ 加工食品……かまぼこ、ソーセージなど……にはとくに注意しましょう。冷蔵庫があるからといってたくさん買い込むことは危険です。

④ 冷蔵庫の中はいつもきれいにそうじを怠らないよう、気をつけましょう。

⑤ 霜とり十分注意すること。霜がつくと温度が下がります。

⑥ 納税のおしらせ
六月は村民税第一期の納期です。みんなそろつて完納致しましょう
税務係

村の歴史

都築 建康

豊永郷の道番所については先号でその所在地、制度等について述べたが、今回は当時の道番所の実態を知るために幸ひ西条口番所に保存されていた古文書を三谷茂盛氏が高知県立図書館に寄贈された。

「三谷家文書」として保管されておられる中より、文化八年(一八一七)の資料によつて番所の機構、備付けの諸道具等々を記載されているので参考に見ることにする。

西条口御番所番人三谷加太夫
一、御番所窓ケ所
一、御番給 拾五石 木田
一、役地九拾三石八斗三升新田
一、御番屋窓軒但四間二拾三間 茅ふき
一、長屋門窓軒但二間二拾間かやふき
一、柵之義先年御番屋方式町程来二出番屋四間
御座候へ共其所二詰り不申百年以前方外へ引廻し出番七ヶ所自カラ以相調出番人定詰相勤居申候尤私役知給田ノ内道三門柵左二記指上ル

井内ケ間谷
一、出番所窓軒 但三間二五間
かやふき出番人甚平
一、門窓軒但九尺二式間かやふき
一、柵長 三拾三間半
御番道具
一、熊子式本 一、棒式本
一、指繩三筋
右給田武反自分役知ノ内差遣申候此本御番所方道法式拾四町宮ノ後
一、出番所窓軒 但式間半二四間かやふき 出番人 重之丞
一、門窓軒 但五尺二式間かやふき
一、柵長 式拾間
御番道具
一、熊子式本 一、棒式本
一、指繩三筋
右給田武反自分役知ノ内差遣申候本御番所方道法式拾三町
一、出番所窓軒但三間二六間
茅ふき出番人長助
一、門窓軒 五尺二式間茅ふき
一、柵長 式拾間
御番道具
一、熊子式本 一、棒式本
一、指繩三筋
右給田大米窓斗五升私方差遣申候本番所方道法式拾町
一、右出番所之義他国出入仕道筋二御座候へ共野山之義爲用心作道出番人付置申候

大豊村は「明るく正しい選挙推進重点地区」として県から指定されましたが、この運動に先だつて五月二十八日の部落長連絡協議会の席上、過去の投票成績その他について話し合いがもたれました。その結果、いつの選挙でも投票率は(村議選を除く)県下で最下位にあることがわかりました。

村ぐるみで明るく正しい選挙の推進を計画

自治大臣賞も受けた本村が、このような状態ではあまりにもほろろかしいことであると、秋山正隆会長を中心に部落長連絡協議会の中から若干の委員を出して、明るく正しい選挙の常時啓発と、棄権防止(特に七月七日の参議院選挙)等を村ぐるみで推進するにはどうすればよいかについて研究をすすめることになりました。

この会の名称はまだきまつておりませんが、青年団、婦人会、老人クラブ等よりも、それぞれ代表者を出していただき、六月十五日頃、意見をまとめることになっており、今後の活動が期待されます。



右給田武反自分役知ノ内差遣申候本御番所方道法式拾三町